

七飯町

議会だより

令和5年 第3回定例会 令和4年度決算 一般会計は賛成少数で不認定 各特別会計、公営企業会計は認定

令和5年第3回定例会は、9月6日に招集され、会期を22日までの17日間として開催されました。議案11件、同意1件、諮問2件、報告3件、認定6件、選挙2件を審議しました。また、令和4年度一般会計の決算は賛成少数で不認定、各特別会計及び公営企業会計は全員一致で認定となりました。

一般質問では7人の議員が質問に立ち、町政に対する理事者の考えを質しました。また、議員提出議案として、特別委員会の設置1件、専決処分事項の指定について1件、国、関係機関へ要請する意見書4件を審議し、原案のとおり可決されました。



第3回定例会
議案・審議結果

審議結果 【第3回定例会】令和5年9月6日～22日の審議結果は下記のとおりです。
○=全員一致で可決 ○=賛成多数で可決 ●=賛成少数で否決 ×=賛成なしで否決

区分	結果	番 号	議 件 名 等	継続審査・調査
議 案	人 事	同意 第18号	教育委員会委員の任命について（木村希氏）	
	条例制定	○ 議案 第27号	七飯町子ども・子育て応援基金条例の制定について	
	条例改正	○ 議案 第37号	七飯町手数料条例の一部改正について	
	その 他	○ 議案 第38号	七飯町健康センター条例の一部改正について	
		○ 議案 第39号	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議について	
	補正予算	○ 議案 第40号	令和5年度七飯町一般会計補正予算（第5号）	
		○ 議案 第41号	令和5年度七飯町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	
		○ 議案 第42号	令和5年度七飯町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
		○ 議案 第43号	令和5年度七飯町介護保険特別会計補正予算（第1号）	
		○ 議案 第44号	令和5年度七飯町水道事業会計補正予算（第1号）	
		○ 議案 第45号	令和5年度七飯町下水道事業会計補正予算（第1号）	
○ 議案 第46号		令和5年度七飯町一般会計補正予算（第6号）		
諮 問	可 諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦について（菅沼由美氏）		
	可 諮問 第2号	人権擁護委員候補者の推薦について（林秀法氏）		
報 告	報告済 報告 第5号	令和4年度七飯町健全化判断比率について		
	報告済 報告 第6号	令和4年度七飯町水道事業資金不足比率について		
	報告済 報告 第7号	令和4年度七飯町下水道事業資金不足比率について		
	不認定 認定 第1号	令和4年度七飯町一般会計歳入歳出決算認定について	令和4年度決算審査特別委員会へ付託・報告	
	認定 認定 第2号	令和4年度七飯町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		
認定 認定 第3号	令和4年度七飯町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について			
認定 認定 第4号	令和4年度七飯町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について			
認定 認定 第5号	令和4年度七飯町水道事業会計決算認定について			
その 他	認定 認定 第6号	令和4年度七飯町下水道事業会計決算認定について		
	選挙 選挙 第8号	選挙管理委員の選挙		
	選挙 選挙 第9号	選挙管理委員補充員の選挙		
補正予算	○ 議案 第46号	令和5年度七飯町一般会計補正予算（第6号）		
	○ 議案 第11号	特別委員会設置に関する決議（赤松街道樹木伐採等に関する調査特別委員会）		
意 見 書	○ 議案 第12号	町議会の委任による専決処分事項の指定について		
	○ 議案 第13号	下水サーベイランス事業の実施を求める意見書		
	○ 議案 第14号	国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書		
	○ 議案 第15号	学校給食の無償化を求める意見書		
	○ 議案 第16号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書		
	○ 議案 第16号	常任委員会報告（総務経済常任委員会）		
そ の 他	報告済 出納検査報告			
	承認 議員の派遣について			
	承認 閉会中の継続調査の申出について			
	承認 閉会中の委員会活動の承認について			

◆議会報告会の開催について
議会報告会の開催を希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。
（議会事務局：65-5947）
また、町民の方へ議会活動の内容を知っていただくため、町ホームページ内、七飯町議会のページにて、令和5年度議会活動報告の動画を公開していますので、ぜひ、ご覧ください。



七飯町議会
ホームページ

令和5年第3回定例会 審議して決まったこと

条例制定
七飯町子ども・子育て応援基金条例の制定

条例改正
七飯町健康センター条例の一部改正
七飯町健康センターの使用料を北海道健康センターの公募浴場入浴料金の統制額（銭湯の入浴料金）と同額とするため。（令和6年4月1日施行）

補正予算
七飯町一般会計補正予算（第5号）
補正額：3億5千5百20千円
新型コロナウイルスワクチン接種事業、政策空家移転補償費等に伴う補正、七飯町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
補正額：1千1百84千円
七飯町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
補正額：1百66千円
七飯町介護保険特別会計補正予算

総務経済常任委員会より審査結果の報告書が提出され、原案のとおり可決した。（公布の日から施行）

（第1号）
補正額：5千5百80千円
七飯町水道事業会計補正予算（第1号）
支出補正額：7百80千円
七飯町下水道事業会計補正予算（第1号）
支出補正額：3百100千円
七飯町一般会計補正予算（第6号）
補正額：1千244千円

その 他
北海道市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議について
組織する団体に「後志広域連合」が加入することから、規約を変更。
議員の派遣について
閉会中の継続調査の申し出について
閉会中の委員会活動の承認について

諮 問
人権擁護委員候補者の推薦
人権擁護委員として、菅沼由美氏、林秀法氏2名を候補者として推薦。

選 挙
選挙管理委員の選挙
選挙管理委員の任期満了に伴い選挙が行われ、次の方々が当選した。
選挙管理委員補充員の選挙
選挙管理委員補充員の任期満了に伴い選挙が行われ、次の方々が当選した。

選挙管理委員 金澤 実、佐藤 耕一
選挙管理委員補充員の任期満了に伴い選挙が行われ、次の方々が当選した。
清野 雅之、小杉 重宣
星見 拓禪、穂積 広道

報 告

◆令和4年度七飯町健全化判断比率
実質公債費比率は8.5%で前年比1.3ポイント減少し改善している。早期健全化基準の25.0%と比較してもこれを下回っている。将来負担比率は17.5%で前年比18.1ポイント減少し改善しており、早期健全化基準の30.0%と比較してもこれを下回っている。なお、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は黒字のため算定されていない。

◆令和4年度七飯町水道事業資金不足比率
いずれも資金不足が生じていないため算定されていない。

決 算

◆令和4年度一般会計、各特別会計及び公営企業会計決算は、令和4年度決算審査特別委員会に審査を付託し、審査結果が定例会最終日に報告された。

発議案(決議)

◆特別委員会設置に関する決議
赤松街道樹木伐採等に関する調査特別委員会設置に関する決議が提出され、全員一致で可決した。（議長を除く13名）

○委員長 池田 誠悦
○副委員長 稲垣 明美

発議案(その他)

◆町議会の委任による専決処分事項の指定について
◆次の4件の意見書について可決
○国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書
○ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
◆令和5年第3回臨時会（7月24日）
補正額：7百29千円
七飯町一般会計補正予算（第4号）
補正額：7百29千円
対外競技参加費等について補正。



報告書全文は町HPへ



報告書全文は町HPへ



報告書全文は町HPへ

各委員会の活動報告

総務経済常任委員会

議案第27号七飯町子ども・子育て応援基金条例の制定について審査

総務経済常任委員会に付託された議案第27号七飯町子ども・子育て応援基金条例の制定について審査するため、令和5年6月8日、6月21日、7月13日の3日間委員会を開催し、財政課長の出席を求め聴取した。

〔審査の内容〕

委員会において慎重に審査をしたところ、現在、町が取り組む重要施策の一つとして、子育てをしやすい環境づくりの整備をはじめ、教育環境の充実といった、七飯町の未来を担う子どもたちが健やかに成長し、子育て世帯が安心して「子どもを産み、育てられる」ことができるよう、町独自の「子育て支援策」が今後ますます必要となっている。

また、新たな支援策の拡充を進めるためには、その事業に充てる一般財源が必要となることからこの基金を設置し、各年度の子育て支援、教育支援に充てるための財源を確保することは非常に重要な施策であり、今後の七飯町の子育て支援策にも必要な条例であるとの結論となった。

以上のことを踏まえ、採決を行った結果、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

所管事務調査：総務経済常任委員会

●町内の経済団体の活動について

- ・調査の目的
町内の経済団体の活動について、コロナ禍前後における活動状況を把握するため調査を行った。
- ・調査のまとめ
活気のあるイベント開催によりもたらされる経済活性化や、当町の魅力や活力のあるイメージを町外の方へ与えることで関心を持ってもらい、新たな事業展開や新規事業者を呼び込むことにより、移住定住へも繋がるものと考えことから、イベントに対しては更なる協力が必要であり、イベントを通じた町内の経済団体の活動を後押しし、経済活性化を促進していくことを強く求める。
※その他、次の4点について調査を行った。

●町内の事業承継の状況について

●遊休農地を活用した農業振興について

●七飯町水道ビジョン及び七飯町水道事業経営戦略の策定状況について

●特環下水道汚水処理施設再構築基本方針策定状況について

令和4年度決算審査特別委員会：認定第1号令和4年度七飯町一般会計歳入歳出決算認定について ほか認定5件

令和4年度一般会計、各特別会計、公営企業会計の決算を審査

令和4年度決算審査特別委員会に付託された令和4年度一般会計、各特別会計、公営企業会計の決算審査のため、9月8日、11日から14日、19日、20日の7日間委員会を開催した。町長から提出された決算書及び決算に関する関係書類、証書類のほか、当委員会が要求した資料等をもとに、町長、副町長、教育長、担当課長、センター長、局長の出席を求め、審査及び現地調査を行った。また、9月19日には、町長への総括質疑を行い、10項目の質疑を実施した。

その後、一般会計について起立採決をした結果、賛成1名、反対10名により不認定すべきものと決定し、各特別会計及び公営企業会計については全員一致で認定すべきものと決定した。一般会計の不認定理由として以下の項目が挙げられた。

道の駅でない・ななえの合併処理浄化槽から排出される水のBODと透視度に関しては排出基準を一度もクリアしていない。BODの処理目標水質は20mg/L以下と定められているが、道の駅開業の平成30年度より5年間、一度も排出基準をクリアしておらず、特に平成30年度と令和3年度は、BOD基準値に関しては8倍以上という異常値を出している間が、管理責任者の町が有効な改善策をとらなかったことは重大な法令違反行為であると認識している。この間、町は改善策として汚泥引き抜きと張り水行為をしてきたが、排出基準は一向に改善されていない。今後の対策として、道の駅浄化槽適正化調査業務委託を行う考えを町長総括質問への回答で打ち出したが、一般会計決算審査に関しては不認定を表明する。

また、町は活力のあるまちづくり推進助成金として1,656,257円を助成しているが、その一部はフリーペーパーとして発行され、神社開催事業をPRする内容であった。これは政教分離の原則に反する恐れがあることから、今回の一般会計の決算に関しては不認定を表明する。

その他、委員から、今回の決算審査による要求資料の提出において浄化槽法による法定検査結果の数値がいずれも基準をクリアしていないことが判明。町長においてもBOD基準値をクリアしていないことを初めて知ったと答弁があったが、施設管理者で予算執行者である町ではこの事実を把握していた。議会から指摘がなかったら、この問題は改善されなかったと認識されることから、不認定を表明すると意見があった。



質 問



質問項目はこちら

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたって町に疑問点を質し、所信の表明を求めるところです。YouTubeチャンネルでは個人ごとの質問を見ることができます。

一般質問の原稿は、質問者本人が質問と答弁を要約して作成しています。なお、詳細な質疑や答弁についてはYouTubeチャンネルや会議録をご覧ください。



一 般 質 問

ゼロカーボンシティを目指す事について

平松 俊一 議員

公共施設の今後や図書館などの建設に関して有利な国補助制度を使う為にも役場庁舎と文化センターの合築を検討すべきではないのか。

ZEB化（省エネの具体的推進）に向けて各課（国の事業補助に関する資料を配布し検討している。その上で町全体の事業計画は来年度にまとまる、「七飯町地球温暖化対策実行計画」に基づき、専門家を交えた「検討委員会」で検討されるものと思われる。

その他の質問 「認知症基本法」「図書館建設を地域活性の核に」「赤松街道樹木伐採と町道

の支障木について」

赤松街道に植栽されていた樺の木が伐採された問題について

上野 武彦 議員

樺の木は伐採に至った経過と町はどのような理由で伐採に同意したのか、また、伐採は北海道自然環境等保全条例違反行為ではないか

函館開発建設部道路事務所より、樺の木の枝が折れ、駐車場の車が損傷し、国家賠償をする事案が発生した。今後人身事故となる危険もあり伐採したいとして、七飯町に同意を求める文書が届いた。環境生活課では道路利用者の安全確保を最優先するため、伐採に同意していること、また、北海道条例に規定されていることから

例違反とはならない。

その他の質問 ほか4問。

健康増進のための健康アプリの作成と健康ポイント制度について

神崎 和枝 議員

ウォーキングや健康状態の記録、自宅で出来る体操や筋トレなど、若いも若きも障がい者もポイント制度に参加できるアプリの作成や、健康に関する活動に応じてポイントを付与し、個人の健康意識やモチベーションを高めることで町全体の健康水準や医療費の削減にも貢献できる「ポイント制度」の導入について

健康カレンダーや生活習慣病・健康寿命に活用出来る機能も含めたアプリやポイント制度を、来年度策定する保健福祉健康づくりに関する視野に入れ検討する。

冬期間の除雪体制について

佐々木 陵二 議員

七飯町の除雪体制について高齢化が進み、家庭・家族環境も変わってきていることからさらなる強化が必要と考えている10cmの判断基準を変えて判断を早くできないか。体制維持のための今後の考えは。機械の今後の更新計画は。除雪回数について5年間の実績に合わせ増やす考えはないか伺いたい。

状況を考えてながら判断を早くできるようにしていく。直営・委託ともに現状の除雪レベルを維持できるように考えを考慮し国の補助事業を利用し更新していく。契約回数は実績を踏まえ考えていきたい。

児童、生徒の熱中症対策について

川村 主税 議員

今後、空調設備等を設置する考えはあるのか。

空調設備等については、北海道では整備が進んでいないのが現状です。今後、温暖化が進むだろうという中で、学校段階においても必要になってくると考えており、優先順位が高いものと認識しております。進めるに当たっても、小学校の低学年で自分の体温調整の意思表示がしづらい学年からなど、条件を整理しながら検討してまいります。

その他の質問 「町内における民生委員のなり手不足対策について」

公共施設における冷房設備について

川上 弘一 議員

役場庁舎内の温度計では、7月下旬から8月末までの25日間でも、暑さ指数が28度以上の日が21日間で、小中学校の教室もこれ以上の高温であり、いつ熱中症になってもおかしくない、劣悪な環境であったと思われる。学校施設等公共施設に、冷房設備等による高温対策を整備する考えはないか

来年度以降予算化し、学校施設から熱中症対策を講じ、公共施設の対策も順次進めていきたい。役場庁舎についても労働環境の改善に向け、内部で協議していきたい。

物価高騰に対する子育て世帯支援

江口 勝幸 議員

原油価格高騰への対応と灯油購入補助である福祉灯油制度について

灯油の価格が高騰し、生活環境が厳しい中で高齢者、障がい者、ひとり親世帯を支援する町の福祉灯油の助成金5千円を引き上げる考えはないか。また、有資格者への案内、周知の方法について改めて検討する考えはないか。

灯油価格は、制度開始当初と比較し大幅に価格上昇しているが、現段階では助成額の引き上げは考えておりませが、今年度については、低所得世帯への物価高騰対策として、国の事業を活用し、町独自に2万円を追加し5万円を支給しております。

ご理解願います。

その他の質問